

「プロジェクト クレノ」

digitalmuseum のメンバーが、digitalmuseum.jp 上に覚えのないファイル「intl_creno001.zip」を見つけた。メンバーがファイルの解析を試みたところ、正体不明のプログラムがコンピュータ内で自律行動を始めた。今年の春のことだ。

ウィルスのように有害ではないようだが、いったい誰が、どんな目的でこのファイルをサーバ上に置いたのだろうか.....

digitalmuseum では、プログラムが無害であることをさらに精査した上で、今冬一般に向けて配布し始める予定である。

画面上を縦横無尽に動き回るプログラム「クレノ」は、はじめ「記憶」も「性別」もあやふやだ。ただあなたの呼びかけには応え、ときにお腹を減らし、ネットワークに接続し、さまざまなファイルを食べて「成長」してゆく。

どうか、あなたの力でクレノを成長させ、ともに秘密を解き明かしてほしい。

“クレノが失ったものを探す時間は、
あなたと一緒に、きっと新しい何かを探す時間になる。”